

第5章

卷末資料

5-1 用語集

5-2 策定経過

5-3 益田市自転車活用推進委員会名簿



5-1 用語集

No	用 語	解 説
1	ポタリング	散歩のように、特に目的地を定めず気分や体調に合わせて周辺を自転車で巡ること。
2	アクセシビリティ	利用のしやすさ、都市生活における利便性。
3	サイクルツーリズム	自転車を活用した観光の総称。
4	かわまちづくり計画	河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」の実現に向けて、国土交通省の支援制度に登録するため、市町村等の推進主体が作成する計画。
5	自転車ネットワーク計画	安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示した計画。
6	PDCA サイクル	事業活動におけるマネジメント手法の一つであり、「計画(Plan)」、「実施(Do)」、「確認(Check)」、「改善(Action)」という業務の一連の流れについて順次実行し、継続的な改善を図る仕組み。
7	アクションプラン	設定した目標を達成するために必要な具体的な行動や手順、期日(スケジュール)等を示した計画。
8	自転車通行空間	自転車が通行するための道路、又は道路の部分。
9	SDGs	Sustainable Development Goals の略称。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
10	100ZEROのまち	本市の「100km走っても信号で止まる回数がZERO」のサイクリングコースに由来する標語。
11	コンパクト・プラス・ネットワーク	生活サービス機能と居住の誘導と、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成により、都市の持続可能性の確保を目指す考え方。
12	サイクルアンドバスライド	自宅などの出発地点から自転車で最寄のバス停まで行き、バス停付近の自転車駐輪場に駐輪し、バスに乗り換えて目的地に向かうこと。
13	サイクルトレイン	自転車を解体せずに鉄道車両内に持ち込めるサービス。
14	輪行	公共交通機関(鉄道、飛行機など)を利用して自転車を分解して運ぶこと。
15	アクティビティ	特定の目的や楽しみを追求するために行う行動や事柄。(余暇、旅行先での)遊び、体験活動など。
16	ロード・レース(自転車競技)	舗装された道路を自転車で走り、ゴールの順番や所要時間を争う競技。
17	ヒヤリハット	「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりする危険な状況が起こったが、事故や災害には至らなかった事象。
18	日本遺産	「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。

No	用 語	解 説
19	ガーデンツーリズム	各地域の複数の庭園の連携により、魅力的な体験や交流を創出する国土交通省の取組。 庭園間交流連携促進計画登録制度⇒[通称]ガーデンツーリズム登録制度
20	ファンライド	地域の景観やコース、地元地域との交流を楽しみながら走る自転車イベント。
21	ハッシュタグキャンペーン	特定のキーワードの強調やトピックを分類する際に使用するハッシュタグ(＃)をつけてSNSへの投稿を促すキャンペーン。
22	オープンチャット	匿名で不特定多数の人たちとチャットする機能。

5-2 策定経過

期 日	内 容	
令和6年 7月4日	第1回 益田市自転車 活用推進委員会	議事 1) 計画改定の主旨・計画改定スケジュール 議事 2) 自転車に関するこれまでの動向 議事 3) 計画改定における基本的な考え方
令和6年 7月～9月	市民意識調査 (アンケート調査)	・市民の自転車の利用状況や自転車活用に関する意識、ニーズ、 施策に関する意向等を把握するため、市民、高校生を対象に アンケート調査を実施。
		市民アンケート調査（令和6年7月10日～令和6年7月31日） ・益田市内在住の18歳以上の市民から2,000人を 無作為抽出し郵送配布・回収 ・有効回答数:788件(回収率:39.4%)
	事業者・団体の意向把握 (ヒアリング調査)	高校生アンケート調査（令和6年7月内） ・市内4高校及び益田養護学校高等部の2年生を対象に 学校配布・回収 ・有効回答数:403件(回収率:83.6%)
		・第1次計画における施策の取組状況・進捗状況、市民の 自転車に対する意識や利用状況の変化等を把握するため、 関係事業者・団体等を対象にヒアリング調査を実施。 関係事業者・団体ヒアリング調査（令和6年7月～9月） ・事前の協力意向を確認し、市より依頼文章を送付後に ヒアリングシートを送付し、書面回答。詳細確認が必要な 場合は、対話形式によるヒアリング調査を実施。 ・調査対象:15事業者・団体
令和6年 9月25日	第2回 益田市自転車 活用推進委員会	・第1次計画の取組施策を所管する関係各課に対して、 ヒアリングシートを用いた書面による意向把握を実施。 市内ヒアリング（令和6年8月内）
		議事 1) 現行計画における取組状況の評価・検証 ①益田市の基礎データ整理の報告 ②アンケート調査報告 ③現行計画における取組状況の評価・検証 ④ヒアリング調査報告 議事 2) 今後の計画検討の方向性・考え方
令和6年 11月19日	第3回 益田市自転車 活用推進委員会	議事 1) 第2次益田市自転車活用推進計画(素案)
令和7年 1月16日	第4回 益田市自転車 活用推進委員会	議事 1) 第2次益田市自転車活用推進計画(案)
令和7年 1月～2月	概要版の作成	・第2次益田市自転車活用推進計画 概要版の作成
令和7年 2月14日～ 3月7日	パブリックコメント	・第2次益田市自転車活用推進計画(案)に対する市民意見公募 ・パブリックコメント結果の公表及び意見の反映
令和7年 3月	計画策定	第2次益田市自転車活用推進計画 策定

5-3 益田市自転車活用推進委員会名簿

益田市附属機関設置条例(平成 25 年益田市条例第 13 号)第 3 条の規定に基づき、益田市自転車活用推進計画の策定に関し必要な事項について審議するため、益田市自転車活用推進委員会を設置しました。

No	所 属	職 名	氏 名
1	公立大学法人島根県立大学	教授	松田 善臣
2	島根県自転車競技連盟	理事	永井 伸次
3	サイクルライフナビゲーター		絹代
4	益田市教育委員会	委員	原田 笑
5	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」	益田地区 幹事	長野 知恵子
6	益田市身体障害者福祉協会	会長	野村 長典
7	有限会社森谷	代表取締役	森谷 典子
8	益田市連合自治会長会	会長	澤江 佑三
9	益田サイクリングサークル		村川 修
10	一般社団法人益田市観光協会	事務局長	高倉 大
11	益田警察署 交通課	課長	高木 俊輔
12	国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所	副所長	安部 正和
13	島根県益田県土整備事務所 維持管理部管理第一課	課長	安田 修二

第2次益田市自転車活用推進計画

発行年月：令和7年3月

発 行：益田市

編 集：産業経済部 観光交流課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0331 FAX 0856-23-4655
